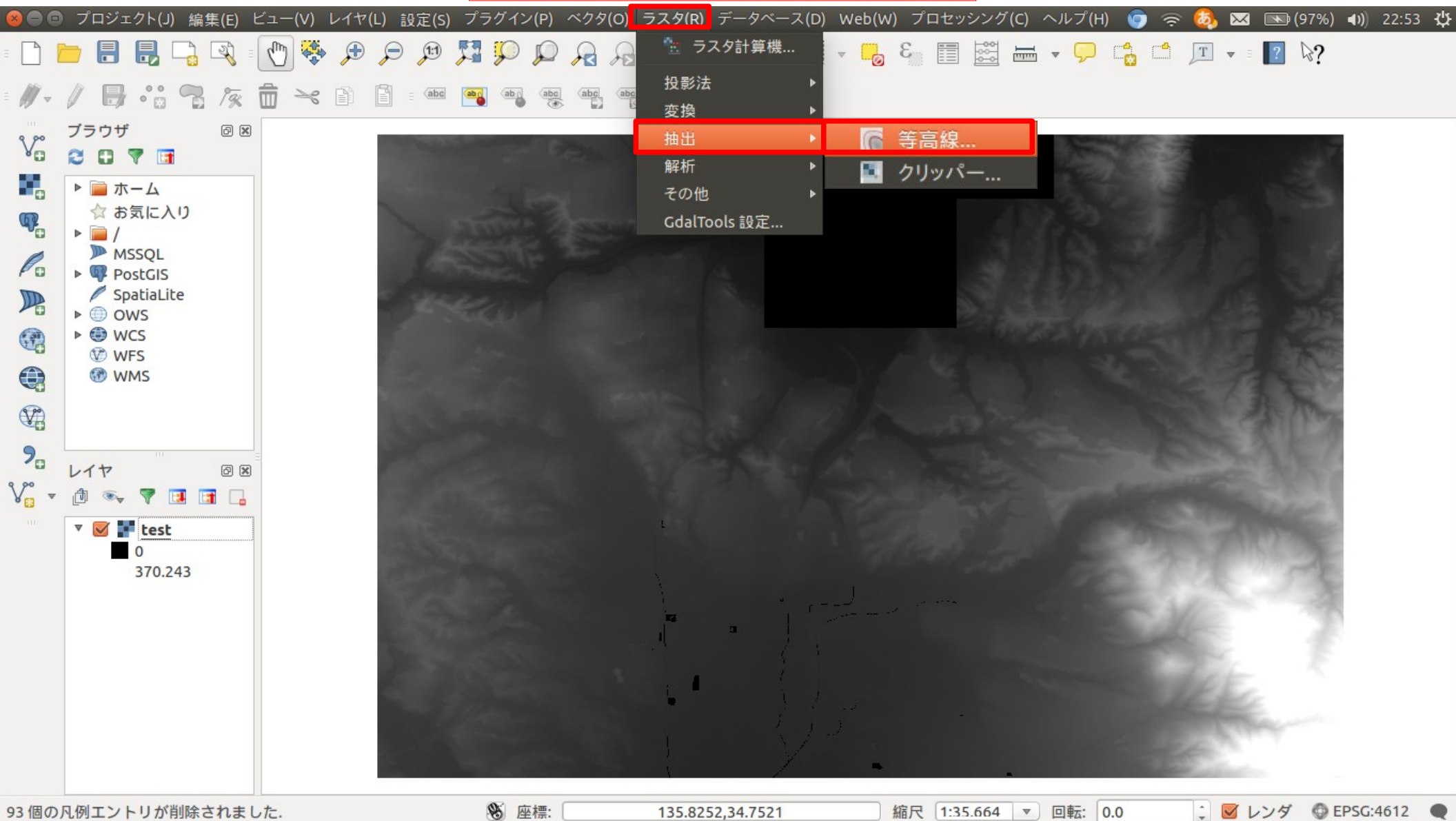


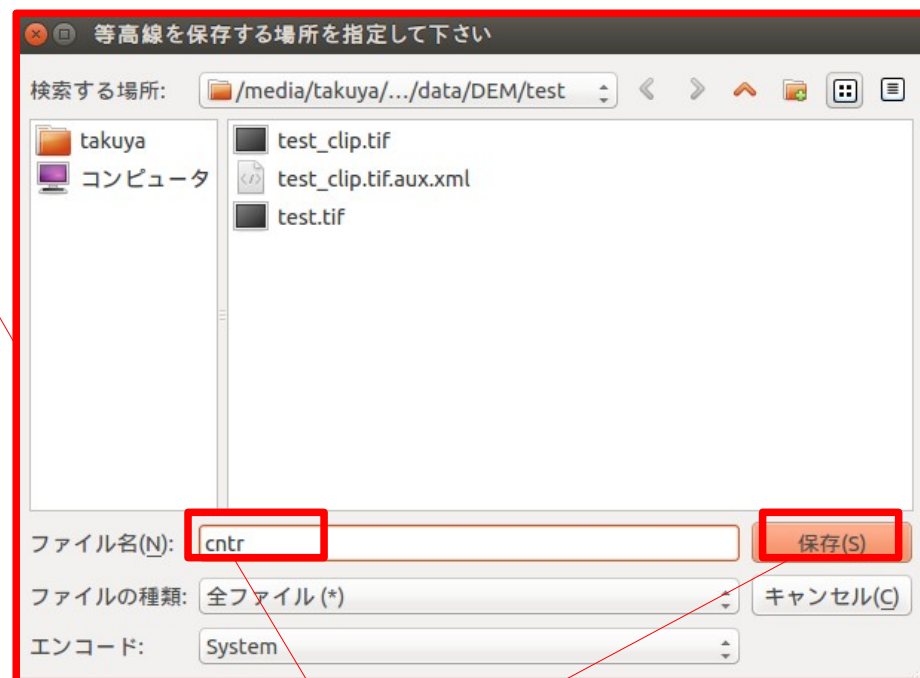
等高線の抽出

ラスターデータを任意の範囲で切り取る

ラスター→抽出→等高線を選択



等高線 (ベクタデータ) を出力する



②等高線の間隔を2mにする

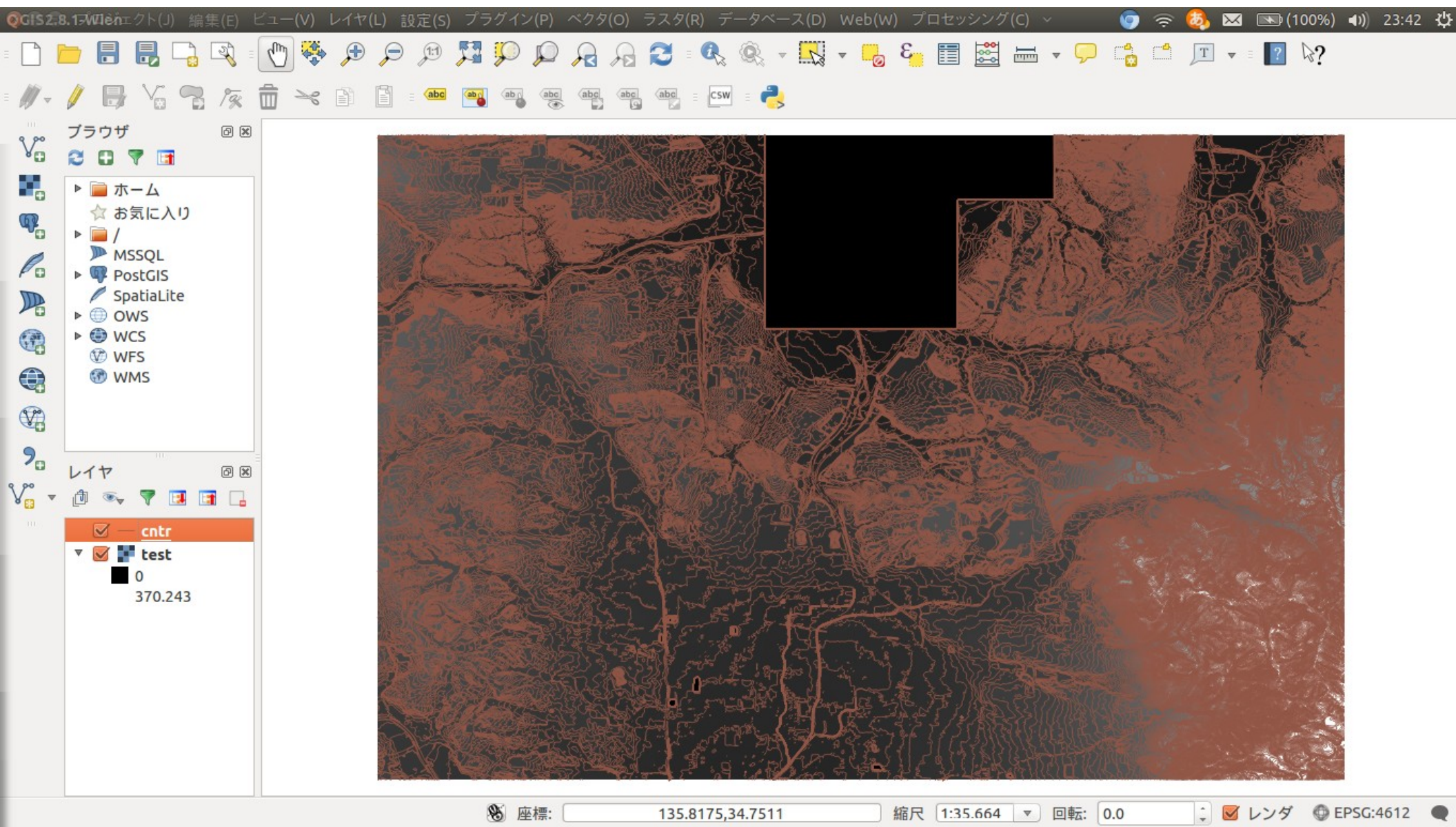
③属性カラム名にチェックを入れる

④OKをクリックする

①ファイル名を付けて保存をクリックする



等高線が集力された



属性テーブルを開く

標高値が入っている

QGIS 2.18.18 (64-bit) 編集(E) ビュー(V) レイヤ(L) 設定(S) プラグイン(P) ベクタ(O) ラスタ(R) データベース(D) Web(W) プロセッシング(C)

ブラウザ

- ホーム
- お気に入り
- /
- MSSQL
- PostGIS
- Spatialite
- OWS
- WCS
- WFS
- WMS

レイヤ

- ☒ cntr
- ☒ test
 - 0 370.243

レイヤの領域にズームする(Z)
全体図に表示する(S)
削除(R)
複製する(D)
レイヤを表示するスケールを設定する(S)
レイヤのCRSを設定する(S)
レイヤのCRSをプロジェクトのCRSに設定する(P)
スタイル

属性テーブルを開く(O)
編集モード切替
名前をつけて保存する...
レイヤ定義ファイルとして保存する...
フィルター(F)...
地物の数を表示する

プロパティ(P)
名前を変更する(N)

ID	ELEV
0	38.000
1	44.000
2	44.000
3	48.000
4	56.000
5	58.000
6	60.000
7	60.000
8	62.000
9	84.000
10	84.000
11	86.000
12	86.000
13	86.000
14	90.000
15	90.000
16	94.000
17	96.000
18	96.000
19	102.000
20	114.000
21	122.000
22	122.000
23	122.000
24	124.000
25	126.000
26	126.000
27	128.000
28	130.000
29	130.000
30	132.000

全ての地物を表示する

座標: 135.8175, 34.7511 縮尺: 1:35.664 回転: 0.0 レンダ EPSG:4612